

# 衆議院内閣委員会ニュース

【第198回国会】令和元年5月15日（水）、第16回の委員会が開かれました。

- 1 内閣の重要政策に関する件、公務員の制度及び給与並びに行政機構に関する件、栄典及び公式制度に関する件、男女共同参画社会の形成の促進に関する件、国民生活の安定及び向上に関する件及び警察に関する件
- 菅国務大臣、山本国務大臣、宮腰国務大臣、片山国務大臣、鈴木国務大臣、田中内閣府副大臣、あべ外務副大臣、大口厚生労働副大臣、滝波経済産業大臣政務官、工藤国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。
- (質疑者) 神谷昇君 (自民)、阿部知子君 (立憲)、初鹿明博君 (立憲)、早稲田夕季君 (立憲)、森田俊和君 (国民)、山岡達丸君 (国民)、浦野靖人君 (維新)、塩川鉄也君 (共産)

(質疑者及び主な質疑事項)

## 神谷昇君 (自民)

- (1) 東シナ海における中国による油田開発
- ア 経緯
  - イ 2008年6月の日中合意についての詳細
  - ウ 2018年10月の日中首脳会談から本年6月のG20までの間にあった進展内容
  - エ 日中の地理的中間線において油田が連続しているため中国側の開発により日本側の資源も取られていないかとの懸念に対する見解
  - オ 我が国も油田開発を行う必要性
  - カ 我が国の排他的経済水域において中国が海洋の科学的調査を同意なしに行っていることに対する認識
  - キ 中国による一方的な油田開発に対して抗議したか否かの確認
  - ク 日中関係の在り方
- (2) メタンハイドレートの開発
- ア 先行開発している砂層型の現状及び問題点
  - イ メタンハイドレート燃焼時の二酸化炭素排出量
  - ウ 砂層型及び表層型の開発のスケジュール
  - エ 国益確保のための海洋エネルギー資源開発の重要性

## 阿部知子君 (立憲)

- (1) 5月11日の北方領土へのビザなし交流訪問団同行時における丸山穂高議員の発言についての憲法第9条及び第99条の観点からの見解
- (2) 企業主導型保育事業
- ア 運営費について、平成30年度は児童数7万人分の予算に対し助成決定額が3.1万人分という実績でありながら、平成31年度予算では9.2万人分の過大な計上がなされている理由
  - イ 会計検査院から、企業主導型保育施設のうち3分の1の施設の定員充足率が5割未満となっているとの指摘を受けているにもかかわらず、大幅な定員増を見込んだ予算を要求する理由
  - ウ 児童育成協会からの問題点等に係る意見交換の要請により、施設の定員割れの実態や不祥事を認識できていたにもかかわらず放置し、過大な予算を計上し続ける内閣府の姿勢

## 初鹿明博君 (立憲)

- (1) ギャンブル等依存症対策
  - ア ギャンブル等依存症問題啓発週間に当たり、全国公営競技施行者連絡協議会が作成したポスターの問題点
  - イ 依存症回復の定義
  - ウ 上記ポスターの撤去及び公営競技等のホームページの改善を早急に行うよう指示する必要性
  - エ ギャンブル等の施行自治体の首長に対し、トップセミナーを開いて啓発を行う必要性
  - オ 依存症民間団体支援事業において、複数の自治体にまたがって行う事業と同様に、単独の自治体の事業についても補助金を全額国費で負担する必要性
- (2) 国務大臣の日程表
  - ア 各国務大臣の日程表が即日廃棄されていたことを菅内閣官房長官が把握した時期及び同事案についての所見
  - イ 片山国務大臣の1か月後の日程管理及び確認の方法
  - ウ 日程管理を行うための一覧表の存否
  - エ 外部の者との接触等の内容を含む日程表については通常より長い保存期間を設定する必要性

#### 早稲田夕季君（立憲）

- (1) いわゆる幼児教育類似施設への支援の在り方の検討状況
- (2) 企業主導型保育事業
  - ア 内閣府の検証結果における定員充足率50%未満の施設数
  - イ 検証結果の内容についての宮腰国務大臣の認識
  - ウ 助成決定後の事業取りやめ及び取消しにより、事業者に返還を求めている助成金の総額
  - エ 補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律第17条及び第18条に基づき、内閣府が事業者等に助成金の返還を求める必要性

#### 森田俊和君（国民）

- (1) 滋賀県大津市において保育園児2人が死亡した交通事故
  - ア 山本国務大臣の所感
  - イ 交通事故リスクに対する保育所の安全管理
- (2) 衝突被害軽減ブレーキ
  - ア 大型車に対する衝突被害軽減ブレーキ搭載の義務化による成果
  - イ 乗用車における衝突被害軽減ブレーキの普及状況
  - ウ 乗用車に対する衝突被害軽減ブレーキの搭載を早急に義務化する必要性
- (3) 先進安全技術を我が国の経済戦略の柱とする必要性
- (4) 交通事故死亡者数ゼロの実現に向けた取組

#### 山岡達丸君（国民）

- (1) 国家公務員のテレワーク勤務における執務環境
  - ア 子供や介護の対象者と同部屋にいる環境での勤務が職務専念義務に反するかの確認
  - イ アの環境において、同部屋に職員以外の第三者がいる必要があるかの確認
  - ウ テレワークに踏み出すことの妨げとなっているQアンドAを見直す必要性
- (2) 国家公務員の業務におけるスマートフォン端末の利用
  - ア 利用の可否
  - イ セキュリティの観点から見た私用端末を業務で使用している実情についての認識

- ウ 私用端末を利用する際の許可の現状
  - エ 公用端末を支給する必要性
- (3) 総務省におけるオフィス改革に対する評価

**浦野靖人君（維新）**

- (1) 大津での交通事故を受けた政府の対応状況
- (2) 企業主導型保育事業
- ア 企業主導型保育事業の検証結果に記載されている愛知県の破産手続きをしている運営会社が自ら破産手続きをしているかの確認
  - イ アの会社の事業整備費の助成に関する申請が2年にわたって行われた理由
  - ウ 申請に対して行われる財務情報の確認の内容
  - エ 事業の譲渡に関し、資金の流れを確認する必要性

**塩川鉄也君（共産）**

- (1) 視覚障害者にとって歩行時の音は命にも関わる重要な情報かどうかに関する政府の認識
- (2) 全国の信号機の整備状況
- ア 信号機の数
  - イ 信号機のうち音響機能のある信号機の数
  - ウ 信号機のある交差点のうちエスコートゾーンが設置されている数
- (3) 歩行者が信号に従う義務及び違反時の罰則の有無
- (4) 視覚障害者が利用する信号機等の設備
- ア 視覚障害者が信号を認識するための機器を整備することは道路管理者の最低限の責務かどうかに関する山本国務大臣の認識
  - イ 音響式信号機の整備目標の有無
  - ウ 音響式信号機の24時間対応についての政府の対応
  - エ スマートフォン対応信号機の設置数
  - オ 夜中に音響式信号機の音量を切らないようにする工夫
  - カ シグナルエイドに対応する音響式信号機設置の要望に対する政府の対応
  - キ 障害者の声を道路交通安全対策に反映できる仕組み作りを行うかに対する山本国務大臣の認識
- (5) 生活道路の安全対策
- ア 交差点、通学路及び生活道路の安全対策の重要性に対する山本国務大臣の認識
  - イ 生活道路における人口当たりの事故件数の特徴
  - ウ 生活道路の安全性を高める施策は道路交通安全施策の中でも最優先、最重点の課題かどうかに関する宮腰国務大臣の認識
  - エ 自動車と歩行者の衝突時における自動車の走行速度が歩行者の致命傷となる傾向

**2 成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律案（内閣提出、第196回国会閣法第56号）**

- ・宮腰国務大臣から提案理由の説明を聴取しました。

**3 牧原委員長から、本委員会に送付された国家公務員の再就職状況に関する予備的調査（辻元清美君外124名提出、平成31年衆予調第1号）の要請について、昨5月14日に、調査局長に対し予備的調査を命じた旨の報告がありました。**